

講座番号

6

# 最期まで自宅で暮らすための3か条 ～先進国オランダと日本のいま～

講師：松岡 洋子（まつおか ようこ）

## 講座概要

デンマークをはじめとする欧州諸国では、1980年代から安易に施設入所に頼らず、「住み慣れた地域で最期まで（エイジング・イン・プレイス）」の政策を進めてきました。これを進めるには、「住まい」「24時間ケア」「地域でのつながり」が重要とされています。日本の介護保険でも自宅に住み続けるための「地域包括ケア」が進められ、地域でのつながりを形成する社会参加の意義が高まっています。オランダの先進的な姿と日本の介護保険を比較しながら、3つの条件にそって考えてみましょう。

## 講座スケジュール

日時	土曜日（全1回）10:55～12:25
① 12月 2日（土）	欧州諸国の住み慣れた地域に住み続けるための「住まい」「ケア」「地域」の3条件についてまとめ、板橋の現実について考えます。
12月 9日（土）	予備日（開講日に実施できなかった場合のみ）

定員	20名
受講料	一般 2,000円 在学生 1,000円
持ち物	筆記用具



講師：松岡 洋子（まつおか ようこ）

東京家政大学人文学部教授（教育福祉学科）

「エイジング・イン・プレイス」という大きな時代のうねりを捉え、「住まい・ケア・地域」の視点から欧州と日本との比較研究をしている。

担当：高齢者福祉論、社会福祉援助技術現場実習指導、基礎ゼミナール他

著書に『老人ホームを超えて』（クリエイツかもがわ、2001）、『エイジング・イン・プレイス（地域居住）と高齢者住宅』（新評論、2011）、『オランダ・ミラクル』（新評論、2021）等がある。